



北浦っ子

令和4年度学校だより9月号
9月7日発行
延岡市立北浦小学校 No8
文責：校長 甲 斐 憲 一

夏休み学習サポート！

8月22日（月）に各地区の公民館にて夏休み学習サポートを実施しました。夏休みの宿題が主な内容でしたが、作文を書いたり、難しい問題を解いたり、子どもたちが自らの課題に一生懸命に取り組む姿が見られ、とてもよい機会となりました。担任の先生とは違う先生からも勉強を教わることができたり、子ども同士で考えたりして、主体的な学習でした。もう少し参加してくれるともっとよかったかなと思いましたが、来年度は登校日として実施して、内容も考えていきたいと思います。



【 直海公民館での学習 】

、来年度は登校日として実施して、

2学期頑張っていこう！

9月1日は2学期の始業式です。長い夏休みで、すぐには体も適応できないと思いますが、みんな元気に登校しました。今日の始業式は、通常の体育館での始業式ではなく、オンラインにて行いました。

まず、2名の子供たちがタブレットの画面に向かって作文を読みました。3年生の河野じんき君は、2学期に頑張りたい2つのことについて発表しました。算数や、運動会でのリレーを頑張りたいということで復習や練習問題に取り組んだり、リレーでは1位をとるとともに、友達と協力し、他の人の応援もしたりして運動会を頑張りたいということでした。

5年生の東畝ゆりあさんは、授業中に恥ずかしくて感想や意見を発表できなかったのが積極的に頑張ることや授業中にはむだなおしゃべりはせず、集中して勉強を頑張りたいということでした。2人の目標を聞いて、全校児童すべての人が目標をしっかり持って頑張してほしいと思いました。

また、愛鳥週間のポスターで金賞を受賞した喜多こたろう君の表彰も行いました。おめでとうございます。



【朝の登校の様子】



【教室でのオンライン始業式】



【愛鳥週間ポスター表彰】

畑造成中！

北校舎の北側に小プールくらいの広さの畑を造成中です。新たに土を入れ、松原さんから協力を得て、トラクターで耕していただき、なんとか畑らしくなってきました。台風が過ぎたあとには、各学年ごとに秋・冬野菜を植えてもらいたいと思っています。収穫した野菜はバザーなどで売って、体験活動を通した生きた教材となるといいかなと思っています。



【トラクターで耕作中】

児童には農業体験学習を通して、働くことの大切さや食への関心をもってもらいたいと思っています。これからの活動がとても楽しみです。

田んぼの観察！

5年生が稲の観察に出かけました。学校近くに植えられた稲には小さな花が咲き、受粉が行われていました。初めて稲の花を見る児童も多く、すでに受粉が終わった実は少し膨らんでいました。隣の休耕田は、イノシシが土を掘り返してミミズを食べた形跡もあり、荒らされないことを願うばかりです。また、10月の中旬には収穫を迎えますが、大きな台風も来ないことを祈ります。



【田んぼを観察する5年生】

新聞の記事から「ゲーム依存、不登校の温床」

9月5日の(月)の宮崎日日新聞の記事の中に『ゲーム依存、不登校の温床』という見出しがトップ面に掲載されていました。この記事には、ネット・ゲーム依存が児童生徒の不登校の温床になっており、不登校のさらなる増加に加え、問題の長期化に伴う心身への重大な悪影響も懸念されていると書かれていました。このことは本校の児童にも大きく関わることであり、ゲームはもとより、YouTubeなどを視聴する場合は、しっかりと親子でルールを決めて、やり過ぎに注意していく必要があります。

H25年学習意欲の科学研究に関するプロジェクトの調査結果

(対象：仙台市の中学2年生：数学の点数)

- | | | |
|-------------------|-------------|-----|
| ○ 家で勉強を2時間以上する子ども | スマホ・携帯1時間未満 | 75点 |
| ○ 家で勉強を2時間以上する子ども | スマホ・携帯4時間以上 | 57点 |
| ○ 家で勉強を30分未満の子ども | スマホ・携帯1時間未満 | 64点 |
| ○ 家で勉強を30分未満の子ども | スマホ・携帯4時間以上 | 48点 |

※この調査結果でスマホ等が子どもたちに大きな影響を及ぼしていることがわかります。勉強をたくさんして、スマホ等を長時間やっている生徒と勉強は少なくとも短時間のスマホ等を使っている生徒を比較したら、後者の方の成績がよいという結果です。『長時間使用は脳の前頭前野が働かなくなるなど、心と体の健康、知能や心身の発達へ大きなリスクがあるといわれています。親子でしっかりとスマホの問題を理解し、依存症にならないように気をつけていってほしいと思います。特に、未就学児からの使用もしっかり考えていかなければならないと思います。』